

# べっぴ 市議会だより

2020.5.1

No.150



鶴見岳ミヤマキリシマ

## CONTENTS

- P 2 令和2年度当初予算の概要
- P 3 議案質疑、常任委員会
- P 4 議決結果
- P 5 予算決算特別委員会（令和2年度当初予算審議）
- P 6 一般質問（3名が市政を問う）
- P 7 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う議会の対応について、  
議会運営委員会委員の選任
- P 8 議長副議長就任あいさつ、市民と議会との対話集会、編集後記

## 令和2年度 当初予算 ※一般会計は肉付け後(6月補正後)と比較

**一般会計 554億4000万円 (前年度比 10.2%増)※**

**特別会計 533億8000万円 (前年度比 0.1%増)**

「市民が幸せを実感できるまちの実現」のために  
持続可能な財政運営の更なる厳格化を求める

令和2年第1回定例会は2月27日から3月23日までの26日間にわたり開催されました。

今定例会では、最終日に追加議案として提出された新型コロナウイルス感染症対策費の補正予算案を含めた市長提出議案62件、議員提出議案3件、請願1件、議員派遣1件の計67件について議決を行いました。

また、会期中の3月10日、11日には予算決算特別委員会を開催し、予算審議を実施しました。当局より、令和2年度は、市民に寄り添う市政、市民が幸せを実感できるまちの実現を最大の目的に予算を編成し、図書館等一体的整備、東洋のブルーラグーン、別府ツーリズムバレーの重点3本柱を前進させるとともに、令和2年度から始まる第2期総合戦略の方向性に

沿った、まち・ひと・しごととの好循環を生み出す事業に予算を重点配分したとの説明がなされました。

これに対し、委員から敬老祝金の削減や使用料改定等により市民の負担感が増しています。

また、大型事業の計画、経常的経費の拡大、公共施設の見直し等により、財政見直しは非常に厳しい状況であるため、経常収支比率の改善を求めるとともに、財政運営の更なる厳格化を求めるとの意見がなされました。

なお、採決においては、29件の議案について、一部の議員から反対の意思表示があり、そのうち、議員提出議案1件が否決されました。

その他の議案については、すべて原案のとおり可決等されました。

## 当初予算における重点事業

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

**図書館等一体的整備事業** . . . . . 1億2166万円

図書館等に地域課題の解決、地域コミュニティ活性化等の拠点となる機能を備えた複合施設を整備します。今年度は、基本設計・実施設計を行います。

**東洋のブルーラグーン事業** . . . . . 1107万円

アイスランドのブルーラグーンを参考に、露天風呂に水着で入れるスパリゾート施設を民間活力により整備します。今年度は、民間事業者への意向調査などを行います。

**別府ツーリズムバレー推進事業** . . . . . 2999万円

別府が世界の観光ビジネスのイノベーション拠点となり、観光産業ビジネス発祥の地となることを目指します。今年度は、事業者と投資家等をマッチングさせる仕組みをつくります。

**みんなで健活ポイント事業** . . . . . 2128万円

市民の健康状態の「見える化」により、健康寿命の延伸を図ります。

**サイレン・スピーカー整備事業** . . . . . 882万円

旧南小学校跡地に建設する複合施設に防災用サイレンスピーカーを設置します。

**子ども医療助成事業** . . . . . 2億2597万円

10月から助成対象を拡大し、市民税非課税世帯の小中学生の通院医療費を助成します。

**AI活用型オンデマンドバス実証運行事業** . . . . . 1611万円

交通不便地域の解消や路線バスに替わる交通手段の確保に向け対策を検討します。

# 議案質疑

今定例会議案質疑は、執行部が提出した令和元年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、3月3日に5名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

## 別府市中小企業振興基本条例の制定について

**問** 制定の経緯は。

**答** 本市において9割以上を占める既存の中小企業は、産業振興や地域雇用の創出のみならず、働く者の所得の増加、消費の活性化、税収の増加をもたらすものです。

その振興は、産業振興地域経済の活性化と市民サービス向上という好循環を生み出すなど、地域社会の発展においても大きく貢献しており、市民の生活において大変重要な役割を果たしています。この中小企業とそれを取り巻く様々な団体等の責務と役割、そして取り組むべき方針といった基本理念や基本方針を示すため条例を制定するものです。

**問** 条例を今後どう活かしていくのか。

**答** この条例の制定によって、市民、事業者、関係団体そして市が一体となつて、既存の中小企業者の自助努力のもとで企業の振興を図り、経営基盤の安定強化、経営の拡大及び新分野への進出の促進、人材の確保及び育成並びに事業環境の整備、中小企業の活用による地域内の経済循環の創出などの支援に努めます。

その過程において、必要に応じ、関係者に広く意見を聞き、事業の立案、有効性、優先順位などの中小企業等の振興に役立てていきます。



## 別府市営住宅の設置及び管理に関する条例等の一部改正について

**問** 今回の改正で、連帯保証人の必要人数が2名から1名となった理由は。

**答** 近年の社会情勢や、高齢者などの住環境の充実を図る観点から、全国的に連帯保証人制度の見直しが行われており、県が実施した全国の都道府県データや県内各市町村の意向調査を基に、連帯保証人を1名、個人補償限度額を家賃の12か月分とする県の案が示され、本市もこれを妥当と判断し、条例改正を行います。

**問** 連帯保証人が1名も見つからない方への対応は。

**答** 入居者が毎年一定金額を支払えば、家賃未納などの保証を行う法人保証制度の導入を検討しています。今後他市の改正状況に注意を払いながら、これまでと同様に入居を拒まない対応を考えております。

# 常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。今定例会では、令和元年度補正予算や条例などの議案に対し審査を行いました。

今回、各常任委員会に付託されました議案につきまして、当局の説明を適切・妥当と認め、全員異議なく可決等されました。

### ●総務企画消防委員会

「情報推進管理運営に要する経費の減額」は、業務用パソコンの更新業務やリース契約の入札減による減額補正であるとの説明がありました。委員から高額の契約を結んでいるがそれに見合った生産性を上げる取り組みをやるべきではとの質疑に対し、入力業務をロボットが行うなど県内でも先駆的に取り組んでいる旨の答弁がありました。

### ●観光建設水道委員会

「第32回別府湯けむり健康マラソン大会」の実行委員会事務局を担っていた企業が辞退し、大会が中止となったことにより、補助金の不用額が生じたため、経費を減額補正したとの説明がありました。

委員からの長きにわたり実施されてきたこのイベントは、市内外から多くの参加者が見込まれるため、開催について再検討すべきではないかとの意見に対し、現在、陸上競技協会等と協議を行っており、開催に向け調整を進めているとの答弁がありました。

### ●厚生環境教育委員会

「小中学校の校内通信ネットワーク」を完備し、児童生徒一人に一台のパソコンを整備するための事業費を追加計上したとの説明がありました。

委員から、タブレット導入により教員の負担増が懸念されることへの対策について質疑があり、当局から、タブレットの活用は採点等が効率的にでき、働き方改革にもつながると考えている。教員の負担が増加しないよう引き続きICT支援員の拡充を図りたいとの答弁がありました。

## 第1回定例会における議案の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議第1号	令和元年度別府市一般会計補正予算(第5号)	原案可決 (全会一致)	議第35号	別府市都市公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛成多数)
議第2号	令和元年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		議第36号	別府市餅ヶ浜棧橋の設置及び管理に関する条例の一部改正について	
議第3号	令和元年度別府市競輪事業特別会計補正予算(第3号)		議第37号	別府市営湯都ピア浜脇の設置及び管理に関する条例の一部改正について	
議第4号	令和元年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		議第38号	市長専決処分条例及び別府市監査委員に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第5号	令和元年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		議第39号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	
議第6号	令和元年度別府市水道事業会計補正予算(第1号)		議第40号	別府競輪場周辺環境改善基金条例の制定について	原案可決 (賛成多数)
議第7号	令和2年度別府市一般会計予算	原案可決 (賛成多数)	議第41号	べっぶ創生応援基金条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議第8号	令和2年度別府市国民健康保険事業特別会計予算		議第42号	別府市手数料条例の一部改正について	
議第9号	令和2年度別府市競輪事業特別会計予算	原案可決 (全会一致)	議第43号	別府市公民館条例の一部改正について	原案可決 (賛成多数)
議第10号	令和2年度別府市公共用地先行取得事業特別会計予算		議第44号	別府市公民館条例等の一部改正について	
議第11号	令和2年度別府市地方卸売市場事業特別会計予算	原案可決 (賛成多数)	議第45号	別府市春木川ふれあい交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第12号	令和2年度別府市介護保険事業特別会計予算		議第46号	別府市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
議第13号	令和2年度別府市後期高齢者医療特別会計	原案可決 (全会一致)	議第47号	別府市老人憩いの家の設置及び管理に関する条例の廃止について	原案可決 (賛成多数)
議第14号	令和2年度別府市水道事業会計予算		議第48号	別府市敬老祝金条例の一部改正について	
議第15号	令和2年度別府市公共下水道事業会計予算	原案可決 (全会一致)	議第49号	別府市印鑑条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第16号	別府市男女共同参画センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第50号	別府市中小企業振興基本条例の制定について	
議第17号	別府市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)	議第51号	別府市公設地方卸売市場条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第18号	別府市市民会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第52号	別府市市道の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正について	
議第19号	別府市美術館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)	議第53号	別府市道路占用料徴収条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第20号	別府市コミュニティーセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第54号	別府市建築審査会条例の一部改正について	
議第21号	別府市立少年自然の家の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛成多数)	議第55号	別府市営住宅の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第22号	別府市ふれあい広場・サザンクロスの設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第56号	別府市公共下水道区域外流入受益者分担金の徴収に関する条例の制定について	
議第23号	別府市社会福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛成多数)	議第57号	他の普通地方公共団体の公の施設を本市の住民の利用に供させることに関する協議について	原案可決 (全会一致)
議第24号	別府市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第58号	別府市営クレー射撃場の長期かつ独占的な利用について	
議第25号	別府市身体障害者福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛成多数)	議第59号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決 (全会一致)
議第26号	別府市人権啓発センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第60号	別府市役所事務分掌条例の一部を改正する条例等の一部改正について	
議第27号	別府市廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)	議第61号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて(雨宮 洋子)	同意
議第28号	別府市まちなか交流館の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第62号	令和元年度別府市一般会計補正予算(第6号)	原案可決 (全会一致)
議第29号	別府市竹細工伝統産業会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	議員提出議案第1号	別府市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決 (賛成多数)	
議第30号	別府市有温泉施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	議員提出議案第2号	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書		否決 (賛成少数)
議第31号	別府市営阿蘇くじゅう国立公園志高湖野営場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	議員提出議案第3号	介護施設の人員配置基準の引き上げを求める意見書	採択	
議第32号	別府市神楽女駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	請願第1号	気候変動に対する非常事態宣言を求める請願		報告
議第33号	別府市市民ホールの設置及び管理に関する条例の一部改正について	報告第1号	市長専決処分について	原案可決 (全会一致)	
議第34号	地獄蒸し工房鉄輪の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議員派遣		

## 賛否の分かれた議案

議案番号	件名	議決結果	党派・議員名																							
			自民党議員団 12人									公明党 4人				自民新国会 3人			市民クラブ 3人			日本共産党議員団 2人		実行委員会 1人		
			首藤正	河野則	野口哲男	松川峰生	黒木愛一郎	萩野忠好	松川章三	安部一郎	手束貴裕	阿部真一	日名子敦子	梶田貢	堀本博行	市原隆生	荒金卓雄	穴井宏二	山本一成	森大輔	小野正明	加藤信康	森山義治	三重忠昭	平野文活	美馬恭子
議第7号	令和2年度別府市一般会計予算	可決(多数)	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第8号	令和2年度別府市国民健康保険事業特別会計予算	可決(多数)	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第12号	令和2年度別府市介護保険事業特別会計予算	可決(多数)	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第16号～37号	別府市男女共同参画センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について ～ 別府市営湯都江浜臨の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決(多数)	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第41号	べっぴん創生応援基金条例の制定について	可決(多数)	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第44号	別府市公民館条例等の一部改正について	可決(多数)	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第48号	別府市敬老祝金条例の一部改正について	可決(多数)	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第3号	介護施設の人員配置基準の引き上げを求める意見書	否決(少数)	×	×	×	×	欠	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)、法律により、採決に加われない議案は「除」

# 予算決算特別委員会

(令和2年度当初予算審議)

予算審議と決算認定審査の循環性を確保するため、予算決算特別委員会を開催し、令和2年度の当初予算について、慎重な審査を実施しました。主な内容は次のとおりです。

### 歳入について

新型コロナウイルス感染症の影響で経済活動が縮小しているなか、市政運営においても来年度は非常に厳しいものとなることが予測される。

歳入については、市税の増収を見込んでいたが、景気の落ち込みによる下振れも懸念され、減収などの非常事態が危惧される状況である。また、中期財政見通しの際に想定していた基金取り崩し額を圧縮したとのことであるが、基金残高が減少している現状で、来年度当初予算では6億8千万円の歳入不足について、基金を取り崩し充てている状況である。

基金については、本来、減収など非常事態が発生した場合に備えて積み立てているものであることから、新

### 歳出について

税導入の検討を含め、自主財源の確保に全力を挙げ、基金に頼った財政運営を行わないよう強く求める。

あわせて、来年度の予算執行については歳入不足に陥らないよう、情勢を注視し慎重に行うよう求める。

歳入に見合った歳出となるよう財政規模を縮小するとともに、事業の廃止や延期等の見直しを行い、更なる財政運営の厳格化を図ること。特に、「図書館等一体的整備」等の大型事業の実施に関しては、財政状況が悪化するなか、全体の財政収支に影響を及ぼさないよう事業の延伸や抑制を検討し、長期的展望で財政運営を行うことを求める。

あわせて、全ての事業において事業効果をしっかりと

と測定し、効果が見込めない場合には、同様に事業の見直しを行うとともに、最少の経費で最大の効果を発揮するよう努めること。

さらに、高額な運営費補助金の交付については、事業成果の報告等を検討し、補助金交付の必要性について更なる検証を行い、聖域を設けず厳格な見直し作業を行うことを求める。

また、新型コロナウイルス感染症対策については、地域経済への影響を注視し、市民生活の維持を最重要課題ととらえ、対応が後手に回らないよう各方面への経済対策を早急に講じるとともに、感染者が発生した場合に予想される風評被害への徹底した対応を含め、国や県と連携しながら迅速かつ的確に対応することを求める。

入浴料改定に関する条例議案において市営温泉の入浴料改定は、市民に新たな負担を求めるものであることから、市民生活への影響を最小限にするため、10月の施行日まで丁寧な周知を図る等、最大限の配慮を行うよう求める。

# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。3月議会では3名の議員が市当局の見解をいただきました。主な内容は次のとおりです。

## 学校給食の自校式について

日本共産党議員団

美馬 恭子 議員



**問** 健康寿命を延ばすことが大切とされ「市民が生きて健康に幸せを実感できるまちづくり」を進めています。食糧というこの重みについてどのように考えているか。

**答** 学校給食は成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスの取れた豊かな食事を提供することにより、健康の増進、体力の向上を図り、食に関する指導を効果的に進めていく場と考えています。

**問** 今後児童数は減少し食数も減少していく。学校内で給食室を建て替えるにしても場所は確保しやすくなるのではないか。

**答** 児童数は減少傾向にあります。教室の活用状況については、各学校ともきめ細やかな指導や、特別活動での利用のため増加傾向にあります。また、給食調理場として想定した配置となっていないため敷地確保は難しいと判断しています。

**問** 自校式給食存続のために一万筆以上集まった保護者や市民の思いをどのように受け止めるか。今後も意見を受け止めてほしい。

**答** すべての保護者の皆様や市民の皆様の思いを十分に汲みながら、今後も説明を尽くし理解を求めていきたいと考えています。

## 小学校の給食室をなくさないで

日本共産党議員団

平野 文活 議員



**問** 「学校給食施設のあり方検討委員会」や市議会全員協議会での説明資料は、次の点で間違っている。

- ①現状でもHACCPCに基づく調理作業が行われているにもかかわらず共同調理場に一元化しなければHACCPCに適合しないかのようない記述になっていること、
- ②単独方式での建替費用が1校あたり約3億円と、実際より約一億円も過大見積もりになっていること、
- ③国の国庫補助基準面積を実際には存在しない「ドライ化基準面積」として、しかもその国庫補助基準も改定前の古い基準を使い、さらに共同調理場の基準を単独調理場の基準面積と読み替えていること。こうして数値を操作するなどの虚偽の資料で説明して、センター一元化に誘導したのではないか。

**答** ①全員協議会資料は文字の配列により、現状はHACCPCに適合しないと誤解を与えたかも知れません。

②古い資料を使い、実情に近い共同調理場の国庫補助基準面積を単独調理場の面積として試算しました。

③「ドライ化基準面積」とは明示していませんが、ドライシステムに必要な面積について、市としての一応の目安として示したものです。

## ともに生きる条例の進捗について

行財政改革クラブ

泉 武弘 議員



**問** 別府には障がい者手帳所持者8803人、高齢者38548人が暮らしている。平成26年に障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例が施行されたが進捗状況は。

**答** 条例第6条の規定に基づき共生社会形成プランにより実施状況の確認、評価

を行っています。

**問** 今後、公共施設のバリアー解消をどうするのか。

**答** バリアーの除去に向けた予算編成を行っていききたいと思えます。

**問** 道路など公共施設のバリアー解消に大型の税金を投入しても誰も反対しない、目に見える形で進めて欲しい。

また、民間施設のバリアー解消には市の融資が欠かせない。バリアー解消の融資制度をつくれぬか。

**答** 民間施設のバリアー化は重要なこと。現状を把握して、できることを検討していきたいと思えます。

**問** 障がい者の親は、将来誰が子供をみてくれるか不安を持っている。親亡き後の施設づくりに市有地の貸与や自転車振興会などの補助金があれば進まないか。

**答** 市として可能なことは、しっかり役割を果たしていきたいと思えます。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う議会の対応について

3月3日に大分市で県下初の感染症患者が確認されたことに伴い、社会教育施設、社会体育施設及び集会施設等は当分の間閉鎖し、イベント等については、中止または延期の方針となりました。翌4日に開催した議会運営委員会で「人が密集する状態は可能な限り減らしたい」との委員からの意見により、9日以降の傍聴の自粛、一般質問等の通告取り下げによる日程短縮の方針が決定されました。

一般質問については、16名のうち13名が通告の取り下げを行い、本定例会の一般質問の日程を4日間から1日間へと大幅に縮小し、当初の予定日については休会とし感染拡大防止の対応等に協力しました。

本定例会の一般質問の取り下げをした議員  
(13名)

首藤 正 議員	堀本 博行 議員	松川 峰生 議員	市原 隆生 議員	松川 章三 議員	荒金 卓雄 議員	穴井 宏二 議員	森山 義治 議員	三重 忠昭 議員	森 大輔 議員	手束 貴裕 議員	阿部 真一 議員	柘田 貢 議員
---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	---------	----------	----------	---------

### 議会運営委員会

議事日程などの議会運営や会議規則などを協議、調査する議会運営委員会の委員が交代しました。

委員長 首藤 正

副委員長 加藤 信康

委員

日名子敦子 美馬 恭子  
森 大輔 市原 隆生  
黒木愛一郎

### 厚生環境教育委員会

3月4日付けで副委員長が、交代しました。

副委員長 柘田 貢



## 本会議を 中継して います



別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネット、スマートフォン、タブレット端末による本会議の生中継と録画の中継による本会議の放送を行います。

### 放送日時

本会議開催日(午前10時から)

### 放送内容

議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

### 放送メディア

●ケーブルテレビでの中継  
C/TBメディアとんぼチャンネルで生中継します。

### インターネットでの中継

別府市議会ホームページ  
<https://www.city.bepu.oita.jp/gikai/> にアクセスしてお入りください。  
(また、全日程終了後、概ね1週間後から約1年間録画中継を放映しています。)

※議会中継は公式記録ではありません。公式記録は本会議後に調整する会議録となります。

## 令和2年第2回 市議会定例会会期日程 (予定)

6月15日	議案上程
18日	議案質疑 委員会付託
19日	常任委員会 審査
22～25日	一般質問
29日	委員長報告、 討論、表決

※日程は変更することがあります。

### 請願・陳情

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。

令和2年第1回定例会において、気候変動に対する非常事態宣言を求める請願が採択されました。

別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。議会事務局までお問合せください。

なお、令和2年第2回定例会の請願の受付期限は6月4日(木) 17時までです。

就任あつらい



副議長  
阿部 真一



議長  
松川 章三

去る3月の令和2年第1回定例会で議長、副議長の大任を与えていただきました。誠に身に余る光栄でございますし、同時にその責任の重大さを感じているところでございます。

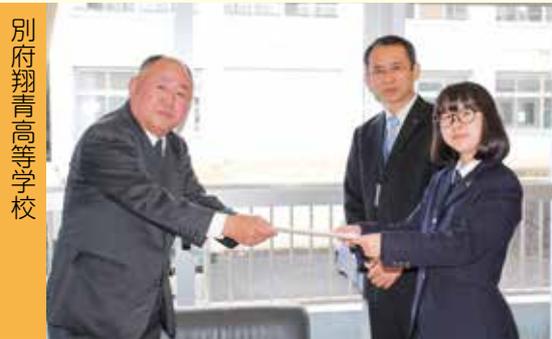
歴代の正副議長の功績は大きなものがございましたが、私たちもこれまでの議員経験を生かし、この職責をはたしてまいり所存でございます。

市民の皆さまにおかれましては、別府市議会に對しまして、引き続きのご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

## 市民と議会との対話集会

令和元年度「市民と議会との対話集会」は、市内4校の高等学校を対象に行いました。各高校の意見交換で出てきた重要と認められる事項について、市長へ要望書を提出し、対応を求めています。今回、要望に対し、市から回答がありましたので、広報広聴委員会委員長より高校4校に報告を行いました。

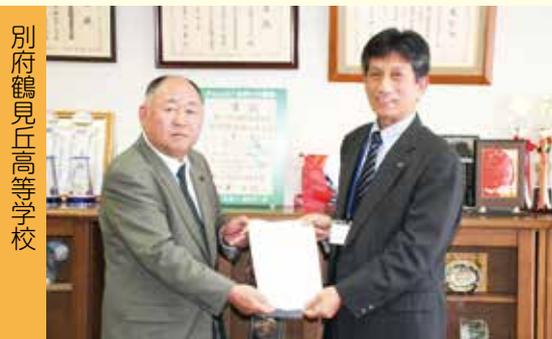
なお、要望書の回答につきましては、別府市議会ホームページで公開しています。



別府翔青高等学校



別府清部学園高等学校



別府鶴見丘高等学校



明豊高等学校



編集後記

令和2年に入り5月新緑の季節、新生活も落ち着き始めたころではないでしょうか。新しい環境でそれぞれにこの一年の計画もたくさんあることでしょう。市議会の一年生議員にとってもそれぞれの役割を自覚しつつ手探り状態で活動をしてきましたが、一歩踏み込んで学習を進めて行く飛躍の年にしたと思うています。2020年度予算、市議会でも多くの意見が出され、条例の改正も良き方向に進んでいくよう議論が尽くされました。

「市民が幸せを実現できるまちを実現する」とした最大目標が達成できるようにこれからも議会としては皆様の意見を聞き、しっかりと市政に反映させていけるよう議員一同気を引き締めていきたいと思っています。そのためにも忌憚のないご意見をお寄せいただけますようお願いいたします。

広報広聴委員会委員  
美馬 恭子